

東北地域 における

健康経営優良法人

2024 取組事例集

2025年3月発行

東北経済産業局 産業部
商業・流通サービス産業課

はじめに

健康経営の普及促進に向けた「健康経営優良法人認定制度」において、第9回となる「健康経営優良法人2025」では、東北地域から大規模法人部門103法人、中小規模法人部門1,763法人が2025年3月10日に認定されました。各県ごとの認定数は年々増加しており、健康経営に対する企業の関心度は、東北地域においても益々高まっております。

この度、東北地域の更なる健康経営の普及促進を図るため、東北経済産業局において、昨年度「健康経営優良法人2024」の認定を受けた企業を対象に、東北6県における健康経営の優良事例として8法人を取り上げ、取組事例集として取りまとめました。

社員の健康を会社組織全体で管理し、経営理念にも組み込んでいくなど経営的視点で捉え、戦略的かつ積極的に社員の健康づくりに取り組まれている企業を紹介しております。健康経営の取組内容、成果、今後の展望など、企業等の皆様が健康経営に取り組むうえでの参考として本事例集をご活用いただければ幸いです。

最後に、本事例集の作成に当たり、資料のご提供やヒアリング等にご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

健康経営優良法人認定制度について

健康経営優良法人認定制度とは??

地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度。

<目的>

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、社員や求職者、関係企業や金融機関などから「社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備する。

<制度体系>

本認定制度は、以下の2部門で構成。



健康経営優良法人
Health and productivity
大規模法人部門

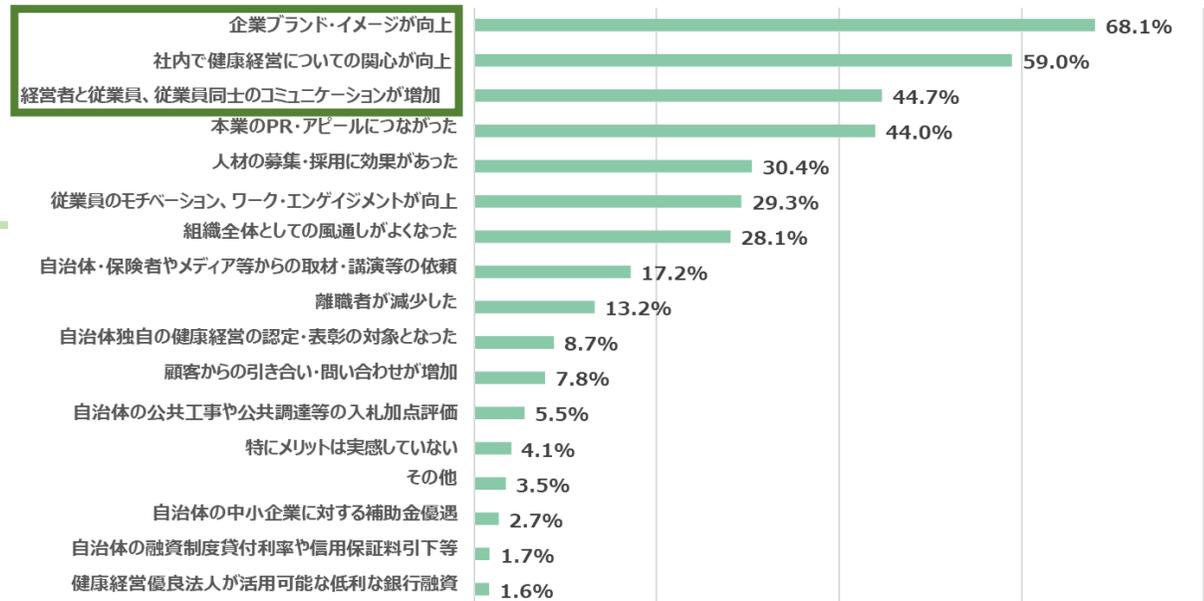


健康経営優良法人
Health and productivity
中小規模法人部門

- ・ 企業ブランドイメージの向上
 - ・ 社内で健康経営への関心の高まり
 - ・ 社内のコミュニケーション増加
- といった効果が多数!

Q.健康経営に取り組むことでどのような効果を感じていますか。(いくつでも) <中小規模法人部門>

N=5,300



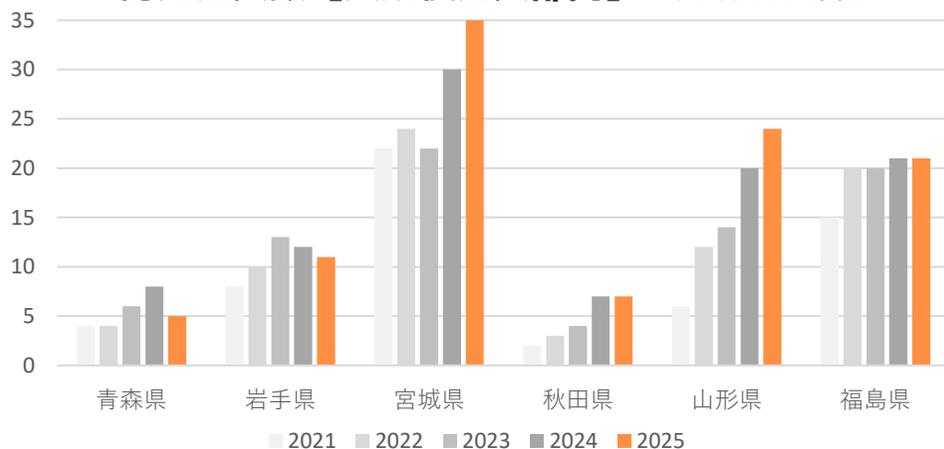
東北管内の認定状況「健康経営優良法人2025」

東北管内では、

【大規模法人部門】 103法人が認定。 対前年比**1.05倍**、対全国比**3.0%**

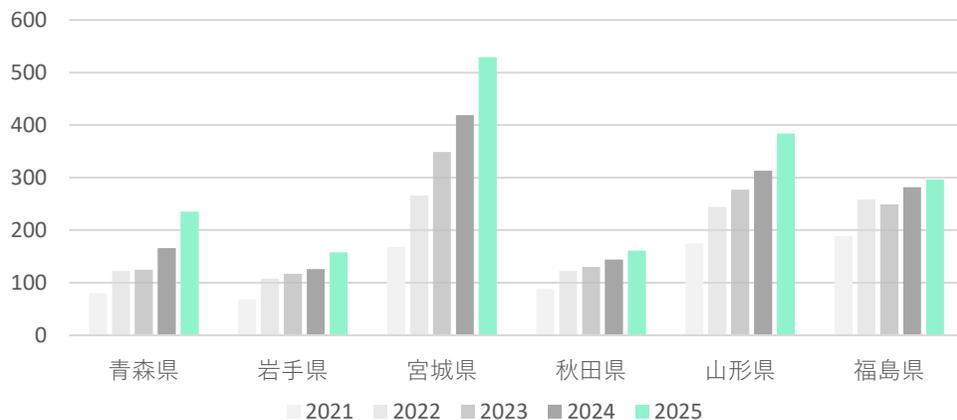
【中小規模法人部門】 1,763法人が認定。 対前年比**1.22倍**、対全国比**8.9%**

認定法人数【大規模法人部門】 ※ホワイト500を含む



都道府県 (本社所在地)	2025認定法人数		
	大規模法人部門 (ホワイト500)	大規模法人部門 ※ホワイト500除く	合計
青森県	0	5	5
岩手県	0	11	11
宮城県	3	32	35
秋田県	0	7	7
山形県	1	23	24
福島県	0	21	21
合計	4	99	103

認定法人数【中小規模法人部門】 ※ブライツ500、ネクストブライツ1000を含む



都道府県 (本社所在地)	2025認定法人数			合計
	中小規模法人部門 (ブライツ500)	中小規模法人部門 (ネクストブライツ1000)	中小規模法人部門 ※ブライツ500、ネクストブライツ1000除く	
青森県	3	7	225	235
岩手県	4	6	148	158
宮城県	12	22	495	529
秋田県	2	6	153	161
山形県	15	26	343	384
福島県	8	12	276	296
合計	44	79	1640	1763

目次



健康経営優良法人
Health and productivity

大規模法人部門

- 1 . 株式会社ワイズマン 【岩手県】 … 6
- 2 . 上山市役所 【山形県】 … 7



健康経営優良法人
Health and productivity

中小規模法人部門

- 1 . 株式会社ヒグチ 【青森県】 … 8
- 2 . 株式会社ベアレン醸造所 【岩手県】 … 9
- 3 . 株式会社白謙蒲鉾店 【宮城県】 … 10
- 4 . 山瀬青果株式会社 【秋田県】 … 11
- 5 . 株式会社丸十大屋 【山形県】 … 12
- 6 . 株式会社福島製作所 【福島県】 … 13

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 南館 聡一郎
- 所在地：岩手県盛岡市盛岡駅西通2丁目11番1号
- 従業員数：548名（男性355名、女性193名）
- 事業内容：介護・福祉・医療施設等向けシステムの開発、販売、サポート
- ホームページ：<https://www.wiseman.co.jp/>

◇取組の概要

- ・ 定期健康診断の結果を確認し、所見のある社員へ二次受診勧奨や保健指導を実施。
- ・ 社内報や社内向けメルマガにて、健診結果の見方や健康コラムなどの健康に関する情報を定期的に発信。多方面からアプローチすることで、社員の健康意識を高めるよう工夫をしている。
- ・ ヘルスケアリテラシーの向上に向けて、セルフケアや睡眠、女性特有の健康などをテーマに全職員対象のeラーニングを実施。
- ・ 毎年提携企業のアプリを活用したウォーキングイベントを実施しているほか、地域のマラソンイベントなどへの参加を促進。
- ・ 長時間労働削減に向けた取り組みや過重労働健診の義務化、時間単位有給休暇制度を導入。
- ・ 長時間座ったままの業務を避けるため、立ちミーティングスペースを設置。
- ・ 在宅勤務、時差出勤、毎月のノー残業デーなどを積極的に実施し、健康に配慮した柔軟な働き方を支援。



立ちミーティングスペースの設置



社内報、メルマガでの情報発信

◇取組のきっかけ

- ・ 2021年に取引先と情報交換があったことがきっかけ。
- ・ 基本経営方針に健康経営の推進を掲げ、2022年7月に代表取締役による健康宣言を全社に発信。
- ・ 中長期的なロードマップを定め、各期の取り組みテーマを設定することで、社員が心身ともに健康で生産性高く働き続けられる状態を目指している。

◇メリット・効果など

- ・ 社員の健康意識の向上に繋がっている。
- ・ 名刺に認定ロゴマークを添付することで、企業間で情報交換する際の話題となった。

◇今後の展望

- ・ 健康経営をより社員に浸透させることで、健康意識を高め、心身ともに健康で長く働けるようにしたい。

健康経営優良法人
Health and productivity

2022・2023・2024・2025 認定

山形県上山市

自治体

◇市の概要

- 人口：27,748人（R6. 8. 31現在）
- 職員数：319名（男性199名、女性120名）
- ホームページ：<https://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/>

◇取組の概要

【市の施策を活かした取組】

- ・市の事業（①かみのやま健康ポイント事業や②健康経営支援プログラム）に職員自身が参加しやすい体制づくりを実施。
- ①ウォーキングや健康教室への参加等でポイントを獲得し、市内の店舗で利用可能な商品券と交換。
- ②地域資源（自然環境・温泉・食など）を活かし、企業従業員等の生活習慣病予防、健康づくり、研修、福利厚生などで活用するフィールドを目指すもの。蔵王坊平観光協議会と連携し、企業等を対象に実施しているリカバリープログラムを職員も体験。

【その他】

- ・特定保健指導の受診や健康関連セミナーへの参加を促進するため、勤務時間内における受診・参加を容認。
- ・職員安全衛生規程に基づき設置する「安全衛生委員会」で2～3か月に一度、健康経営の取組状況の報告や体調管理について呼びかけるチラシを全職員に通知。
- ・ストレスチェック、健康アンケート調査を実施。



健康研修森ヨガ



健康ポイント事業

◇取組のきっかけ

- ・職員数が減少する中、個々の業務量が増加。市民サービスの更なる向上のためには、個人のパフォーマンスの向上がより一層求められるようになった。
- ・市が率先して健康経営に取組み、企業等の健康経営取組普及につながることを期待し、取組を開始。

◇メリット・効果など

- ・休憩時間に自主的なウォーキングを行う職員の増加。
- ・健康ポイント事業への参加率上昇。
- ・職員採用の際、申込者の関心度・信頼度上昇。
- ・企業等への健康経営支援プログラムの提案が行いやすくなった。

◇今後の展望

- ・現在の取組を長期的に継続していくことで、さらなる効果を期待したい。
- ・テレワークの整備等、柔軟な働き方を推進し、職員のワークライフバランスを実現していきたい。



健康経営優良法人
Health and productivity

2019・2020・2021・2022
2023・2024・2025 認定

株式会社ヒグチ

小売業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 内田 征吾
- 所在地：青森県青森市問屋町1丁目15-22
- 従業員数：21名（男性10名、女性11名）
- 事業内容：オフィス用品、医療機器、日用品等の販売
- ホームページ：<https://higuchi2014.com/>

◇取組の概要

- ・フロア内に血圧計やフットマッサージャー、酸素カプセル等を設置したリラクゼーションスペースを設置し、社員がいつでも活用できる場を提供。楽しみながら健康づくりを実践している。
- ・がんスクリーニング検査や胃がんリスク健診、大腸がん健診、禁煙外来（全額）、インフルエンザ予防接種（一部）等の費用を負担。
- ・さらに「思いやり配慮ルール」として、勤務時間内での受診や、健診のための特別休暇制度、1時間単位での有給休暇制度を設けている。
- ・市内のハーフリレーマラソンに約半数の社員が参加。年1回の大会に向けて、個々に事前の練習も実施している。
- ・スマホアプリを活用した3ヶ月で50万歩の歩数チャレンジに約半数の社員が参加。
- ・メンタルケアとして仕事と生活の区別なく相談しやすいような体制を整えている。



リラクゼーションスペースの設置



リレーマラソン大会への参加

◇取組のきっかけ

- ・「社長の一言」がきっかけ。社長交代のタイミングで、社長自身が取り組む禁煙や運動習慣を社内にも浸透すべく、社内の健康づくりにも力を入れて取り組むようになった。

◇メリット・効果など

- ・喫煙者が7名から4名に減少したほか、社員全員が再検査を受診するようになった。
- ・「健康」を軸とした社内のコミュニケーションが活発化し、風通しのよい職場環境につながっている。
- ・認定を通して、顧客や取引先、求職者等多方面で企業イメージの向上につながっている。

◇今後の展望

- ・社内の運動イベント実施、禁煙率向上に向けた更なるサポート等を検討していきたい。
- ・社員の健康を守る大切さを地域にも広めていきたい。

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 鳶田 洋一
- 所在地：岩手県盛岡市北山1丁目3-31
- 従業員数：48名（男性29名、女性19名）
- 事業内容：地ビールの製造、販売
- ホームページ：<https://www.baerenbier.co.jp/>

◇取組の概要

- ・定期的に社内報を発行し、健康に資する情報を周知。
- ・社員と顧客で構成された「ベアレンランニングクラブ」では、自社工場間を走ったり、盛岡市内のマラソン大会に出場したりして達成感のある活動に。
- ・月1回程度の「カエル会議」にて、早めに「帰る」と意識を「変える」をテーマに、働き方改革の実践によって負担のない働き方を社員に展開している。
- ・県の「健康づくり支援事業」を活用し、専門のアスレチックトレーナーによる体力・運動能力を高めるプログラムの受講も実施。ビール製造の過程で生じる体力面での負担もふまえ有意義なプログラムに。
- ・設立時からある会社のブランドガイドラインでは喫煙についてのルールを定め、喫煙者が年々減少。規制ではなく社員に寄り添った禁煙の推奨をしている。
- ・「おかん便」では、ときに地元食材を使用したお惣菜やパンを月2回届けてもらい、社員に健康な食を提供している。



「ベアレンランニングクラブ」の活動



「健康づくり支援事業」
ストレッチ実施の様子

◇取組のきっかけ

- ・商品としてビールを中心に扱っているため、「いつまでも元気に美味しくビールを飲みたい」という思いをずっと持っていた。
- ・保険会社等のサポートが申請の後押しとなり、2021年から健康経営に関する取組を本格化。

◇メリット・効果など

- ・社員の健康意識向上や、仕事のやりがいにつながっている。
- ・会社の体制として若い世代が多い（平均37.8歳）なか、健康を特別に意識せずとも社風として運動を習慣化することができている。

◇今後の展望

- ・引き続き社員の健康を考慮し、開けた社内環境づくりによって相談しやすく風通しのよい雰囲気醸成し、健康経営につなげていきたい。

株式会社白謙蒲鉾店

製造業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 白出 哲弥
- 所在地：宮城県石巻市立町2丁目4-29
- 従業員数：198名（男性71名、女性127名）
- 事業内容：魚肉練製品・製造販売業
- ホームページ：<https://www.shiraken.co.jp/corporate/>

◇取組の概要

- ・定期検診により把握した社員の検診結果や生活習慣の健康データを活用し、外部指標との比較を通して、自社が抱える健康課題を分析し、対策を検討。
- ・毎日、就業時間前にラジオ体操を実施。
- ・2024年に地域の子供達の運動機会を創出するため、近隣の公園へ遊具を寄贈。
- ・1年に1度、社内ボウリング大会を実施。
- ・インフルエンザの接種費用半額助成。
- ・工場内全面禁煙の徹底。
- ・メンタルヘルスケアを重視し、セルフケア、ラインケア（部下のメンタルケア）について研修を実施。
- ・看護師による生活習慣予防セミナーを実施し、あわせて生活改善に関する指導を実施。
- ・産業医を招いた疾病勉強会を実施し、社員と産業医との意見交換を実施するほか、個別指導も実施。
- ・ハラスメント防止セミナーを実施するほか、社内に男女のハラスメント相談窓口を置き、より相談しやすい体制へと拡充。



公園へ寄贈した遊具



社内ボウリング大会

◇取組のきっかけ

- ・コロナ禍の中、社員の健康維持やメンタルケアも必要と感じ、株式会社日本政策投資銀行の「DBJ健康経営格付※」取得を目指すことをきっかけに、健康経営の取り組みを開始した。
- ・開始時は、健康経営の取組を社内で認識してもらうため、社長名で「健康経営キックオフ宣言」を実施。

※日本政策投資銀行による従業員の健康や働き方への配慮に関する取り組みに優れた企業を評価・選定する手法

◇メリット・効果など

- ・社員の運動習慣が改善。（運動を行う社員が増加）
- ・社員の生活習慣病の検診結果が改善。
- ・社内の喫煙率が約3%改善。
- ・イメージアップにより新卒採用活動に貢献。

◇今後の展望

- ・今後も社員の健康寿命を増進させていくために、取組や環境を改善しつつ、継続させていきたい。



健康経営優良法人
Health and productivity

2023・2024・2025 認定

山瀬青果株式会社

卸売業

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 瀬田川 一成
- 所在地：秋田県秋田市外旭川字待合28
- 従業員数：35名（男性20名、女性15名）
- 事業内容：青果物卸売業
- ホームページ：<https://yamase-seika.com/>

◇取組の概要

【健康経営委員会の設置】

- ・若手社員を中心とした健康経営委員会を社内に設置。社内の健康経営に関する取組等について検討し、委員会にて取りまとめた意見は100%実現させている。

【健康経営委員会をきっかけに開始した取組】

- ・有給休暇は当日も取得可能へ。
- ・時間単位の有給休暇を15分単位から取得可能へ。
- ・月1回の社員全体会議では「健康講座」を開催。講師は社員が持ち回りで担当し、社員目線の現場に着目した内容で、実践可能な健康スキル向上を促進。
- ・社員同士のコミュニケーション促進のため、ありがとうを形にして感謝を伝える「サンクスカード」を導入。
- ・誕生月に休暇取得ができる「バースデー休暇」を導入。
- ・社内同好会の設立支援。活動費については一部補助。
- ・身体を動かしながら、ランダムチームで社内を清掃する取組、「Z(ぞうきん)チャレンジ」を開始。
- ・会社ホームページで健康経営の取組PRを実施。



健康経営委員会のメンバー



サンクスカード

◇取組のきっかけ

社内の健康経営の取組について、社員への浸透が足りないことを実感。そこで社内向けに、健康第一を重視している会社の姿勢をより強くアピールしたいと考え、健康経営優良法人認定をきっかけに、社長が全社員に決意表明を実施し、各取組を開始した。

◇メリット・効果など

- ・定期健診受診率が75%→100%へ改善。
- ・認定取得によって、健康に配慮した働き方へ変化。
- ・取引先からの理解も得られやすくなり、時間外労働の削減に貢献。
- ・有給休暇取得頻度が飛躍的に上昇。

◇今後の展望

- ・健康経営委員会の目標である「残業ゼロ月」「有休完全消化」という具体的目標の実現を目指し、これまでの取組を維持、強化するとともに、新たなアイデアを創出し、「楽しく」実施していきたい。



健康経営優良法人
Health and productivity

株式会社丸十大屋

中小規模法人部門

製造業

2022・2023・2024・2025 認定

◇会社概要

- 代表者：代表取締役 佐藤 利右衛門
- 所在地：山形県山形市十日町3丁目10番1号
- 従業員数：36名（男性19名、女性17名）
- 事業内容：味噌・醤油・調味食品の製造、販売
- ホームページ：<https://www.marujyu.com/>

◇取組の概要

【自社独自の取組】

- ・2014年に「おいしく減塩プロジェクト」を始動。企業として減塩商品の開発と啓蒙活動に取り組む。
- ・県内の食生活改善推進協議会等における講演の実施。
- ・小中学生への職場体験学習を通じた食育教育を実施。
- ・全社員研修会では、健康をテーマした講義や社員の健康習慣アンケートの振り返りを実施。
- ・定期健診100%受診と再検査、治療の勧奨徹底。
- ・毎朝、ラジオ体操の実施。

【県や市の事業に参画】

- ・減塩・ベジアッププロジェクト（山形県）
スーパーマーケットで減塩の試供品を提供。
- ・やまがた健康づくり大賞（山形県）
2020年に当時の「減塩推進部門」で大賞受賞。
- ・SUKSK（健康ポイント事業）（山形市）
社内で年2回ウォーキング集中月間を設け、約65%の社員が任意で個人もしくはグループ単位で参加。



毎朝のラジオ体操

 国立循環器病研究センター認定



「かるしお」とは、塩をかるく使って美味しさを引き出す減塩の新しい考え方です。

かるしお認定商品

◇取組のきっかけ

- ・2020年に自社商品「無添加みそ地蔵減塩」が「かるしお※」に認定されたことをきっかけに、社員の健康問題を意識するようになった。
※「塩をかるく使って美味しさを引き出す」という、国立循環器病研究センターが推奨する考え方

◇メリット・効果など

- ・健康経営に関する活動に取り組むことで、社内のコミュニケーションが活性化したほか、社員の自社製品への愛着、仕事への意欲・満足度が上昇。
- ・社員の体調管理の徹底や集中力の維持が、勤務中の事故防止に（2012年以降、労働災害なし）。

◇今後の展望

- ・女性社員の増加に対応した、よりよい職場環境づくり（休憩所の整備など）を行いたい。
- ・健康に寄与する製品開発や活動を通して、従業員満足度（ES）の向上を図っていきたい。



健康経営優良法人
Health and productivity

2018・2019・2020・
2021・2022 認定



健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
プライト500

2023・2024・
2025 認定

株式会社福島製作所

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 太田 光一
- 所在地：福島県福島市三河北町9番80号
- 従業員数：168名（男性143名、女性25名）
- 事業内容：電動油圧式グラブバケット、水力発電設備の設計・製造・販売及びアフターメンテナンス、船舶用ウインチのアフターサービス工事
- ホームページ：<https://www.fukusei.co.jp/index.html>

◇取組の概要

- ・全社員参加による健康セミナーやeラーニング研修を実施。
- ・出産・育児・介護等との両立支援として、独自で「両立支援ハンドブック」を作成。
- ・定期健診や各種検診、2次検査（再検査・要精密検査）に係る費用を全額補助。
- ・構内の全面禁煙化や禁煙外来・禁煙ツールの費用を補助し、必要に応じて産業医による個別相談サポートを実施。
- ・健康経営の取り組みに関する社員の理解や定着を図るため、健康経営宣言の周知や週1回の唱和を実施。
- ・毎朝、ラジオ体操を実施。
- ・健康に関する情報を「福製健康づくり通信」として給与明細と併せて配布。
- ・健康アプリ・福利厚生アプリを提供し、日々の健康づくりをサポート。



全社員参加による健康セミナー



「両立支援ハンドブック」作成 出産・育児・介護等との両立支援ハンドブック

◇取組のきっかけ

- ・定期健診の結果等から社員の有所見者率が上昇傾向にあったのをきっかけに、2018年より「ストップ・ザ・メタボ！」と銘打って経営戦略として健康経営を開始。
- ・社内の「健康経営推進体制」を構築、産業医・産業保健師・協会けんぽ等、健康経営推進担当が一体となって、健康経営に取り組んでいる。

◇メリット・効果など

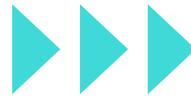
- ・定期健診の2次検査受診率が約35%→約72%、喫煙率が約37%→約20%に改善し、データ上でも効果が目に見えるようになった。
- ・認定ロゴマークのPRにより、企業間での情報交換の話題になっているほか、採用活動に貢献している。

◇今後の展望

- ・健康管理の見える化などを引き続き実施し、健康行動を実践し継続する社員を増やしていきたい。

関連リンク

健康経営優良法人認定制度の詳細
につきましては、
[経済産業省ホームページ](#)をご確認
ください。



▶ 経済産業省
ホームページ

健康経営優良法人認定事務局ポータル
サイト「[ACTION！健康経営](#)」にて申請
スケジュールやセミナー情報を掲載し
ています。



▶ ACTION！健康経営
ホームページ

[東北経済産業局ホームページ](#)にて、
過去に作成した東北地域における
健康経営優良法人取組事例集を
ご覧いただけます。



▶ 東北経済産業局
ホームページ

東北経済産業局では、国の施策や
イベント等について情報提供を行う
[メールマガジン](#)を配信しています。



▶ メールマガ新規登録
(東北経済産業局ホームページ)

お問合せ先

東北経済産業局 産業部 商業・流通サービス産業課
(〒980-8403 仙台市青葉区本町3丁目3番1号)
TEL : 022-221-4914 (直通)
Mail : bzl-healthcare-tohoku@meti.go.jp